

「負け犬の時代」

Małgorzata Turska

ワルシャワ大学日本学科 4年生

五ヶ月前、私は姉の結婚式に出席しました。その時、いろんな人に「ゴシヤ、一人で来たの？彼氏いないの？早くいい人見付けた方がいいよ？」と言われました。私はそのたびに笑って受け流していたのですが、そこで姉の友達三人が目に入りました。三人とも三十歳、皆独身です。よく考えてみると、私の女友達の70パーセントも独身です。その時、私は思いました。もしかしたら、ポーランドにも30代以上で未婚、子どもなし、つまり「負け犬」の時代が来たのでしょうか？

私の男友達の話によると、独身女性は二つのタイプに分かれるそうです。それは、ブサイク過ぎるか、働き過ぎるかの、どちらかだそうです。しかし、私は今、仕事もしていないし、自分がブスだと思ったことは一度もありません。私はゴシヤです。年齢二十三歳、彼氏いない歴一年です。

過去を振り返ると、大学の三年生頃まで、「恋人なんていない」とのんびりしていました。それが四年生になった時、いつの間にか友達みんなに恋人ができていて、私は大きなショックを受けました。

最初、変なプレッシャーを感じて「私も早く誰か見付けなきゃ！」と思いました。そこで私は、彼氏をつかまえるために、女友達と一緒にいろいろなパーティーに行き、素敵に声をかけまくって、携帯番号を交換したのです。数日後、何と6人の男性が私をデートに誘ってくれました。こうして私は次々とデートを試みましたが、誰と会っても、「ああ、この人だ！」とキュンとくることはありませんでした。私はやっと正気に戻り、「妥協して彼氏を作ってはだめだ！」と思い直しました。

一体、なぜ女は負け犬になるのをこんなにも怖れるのでしょうか。それは、未婚女性は価値がないという、間違った認識をメディアから押し付けられているからだだと思います。女は男なしでは生きていけないよ、だからさっさといい相手を見つけて結婚した方がいいよ、と脅迫されているようで、私は我慢がなりません。

もちろん、素敵なパートナーがいるということは人生で大きな意味を持ちます。私の両親は、結婚してもう三十三年になりますが、毎週金曜日の夜には父が高いワインを買って来て、母と一緒に映画を見ながら飲んでいます。両親を見ていると、年をとっても、変わらぬ愛情を感じ、信頼し合えるような人を見つけることがどんなに大事なことが分かります。

では、信頼できるパートナーを見つけるには、どうしたらいいのでしょうか。それは、何よりもまず、自分の本当の気持ちを見つめることです。人生の目的を見つければ、自分がどんな人を必要としているのかが分かります。メディアに踊らされてはいけません。恋人は、焦って探すものではないのです。さあ、みなさん、妥協はしないで、じっくりゆっくりいい人を見付けましょう！